



榎原チャレンジ! 一歩へ

下郷町立榎原小学校
学校だより No.50
令和3年 3月 2日
文責:校長 酒井 健

◇「6年生を送る会」が行われました

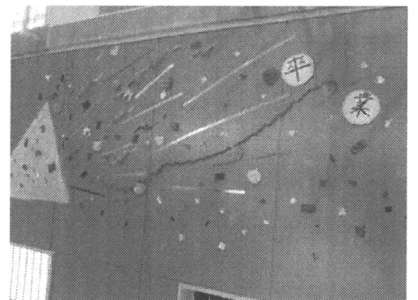
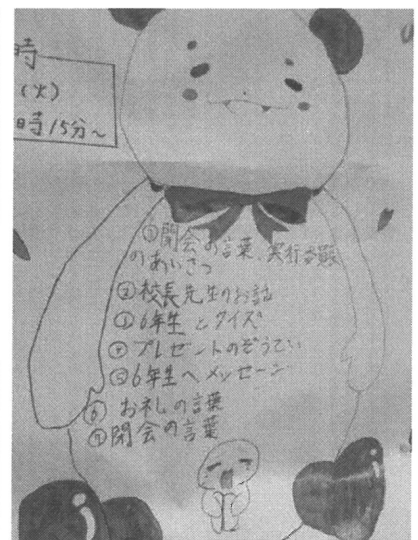
本日3月2日(火)の2校時に、「6年生を送る会」が行われました。例年ですと2時間の予定で行われていましたが、今年度は、1時間に短縮し、3密を回避しての会でありました。

これまでに、5年生の子どもたちが企画・準備に熱心に携わり、この日を迎えることができました。6年生からバトンを引き継ぐ5年生の子どもたち、とても立派でした。

会の中で、5年生からは6年生一人一人への「色紙(メッセージ)」、4年生からは「ミニチュアのカバン」、2・3年生からは「似顔絵」、そして1年生は入場・退場のエスコートとメッセージ・・・と、在校生それぞれの学年で、工夫を凝らしたプレゼントがありました。6年生の保護者の皆様は、ご家庭でご覧いただけたでしょうか。感謝の気持ちがたくさん詰まったステキなプレゼントでしたね。

最後に、6年生からの御礼の言葉として、五十嵐遼くんからあいさつがありました。間もなく、卒業を迎える6年生らしい、しっかりとした、そして心のこもったあいさつでした。

コロナウイルス感染防止のため、触れあったり、密になったり・・・はできませんでしたが、6年生の子どもたちには、1～5年生までの子どもたちの「感謝の気持ち」「御礼の気持ち」がきっと届いたことでしょう。それを見ていた私も、とても優しい、柔らかい気持ちになりました。



【校長あいさつで話したこと】

いきものがかりの「エール」という曲は、平成21年度・・・今から約10年ほど前の「第76回NHK全国学校音楽コンクール」の中学校の部の課題曲にもなった曲です。この歌詞の中に、

「さよならは 悲しい言葉じゃない それぞれの夢へと ぼくらをつなぐエール
ともに過ごした日々を 胸に抱いて 飛び立つよ 次へ」という言葉があります。

16名の6年生の皆さん、それぞれの夢へ飛び立つ第一歩です。皆さんの卒業に対して、心からのエールを送ります。

校長のひとりごと

私は、子どもたちの笑顔を見るのが大好きです。キラキラと輝いていて、屈託のない晴れやかな笑顔は、こちらの心まで笑顔にさせてくれます。今日の「6年生を送る会」においても、子どもたちの笑顔にたくさん出会うことができました。おかげで心地よく体育館を後にしました。これからも、子どもたちの笑顔が輝く、そして、その笑顔に我々も支えられる・・・そのような学校にしていきたいと感じました。